

目標・POINT

- ・日本企業が行っているフェアトレードに関係する取り組みを理解する。
- ・モノカルチャー経済から脱却するための支援が乏しい理由を多面的・多角的に考察する。

(ii) 私たちにできること

- ・ガーナでは、自然から採取された状態で加工されていない①[]の輸出がさかん。
→ 一次産品の輸出でその国の経済が成り立っている状態を②[]という。
※一次産品は、国際価格の変動が激しく天候にも左右されやすい = 収入が安定しない。

- ・カカオ農家が安定した生活を送れるために私たちができること…
商品を買いたくことがないよう、農家の方が安定した収入を得られるように正当な価格で取引を行い、生産国の貧困解消や経済的自立を支援しなければならない… ③[]

◆現在、フェアトレードの対象となっている主な製品

コーヒー 紅茶 カカオ製品 はちみつ 果物 加工果物 ナッツ ワイン 油脂果実 穀類
スポーツボール 切花 コットン 金 など

◆フェアトレードのメリット

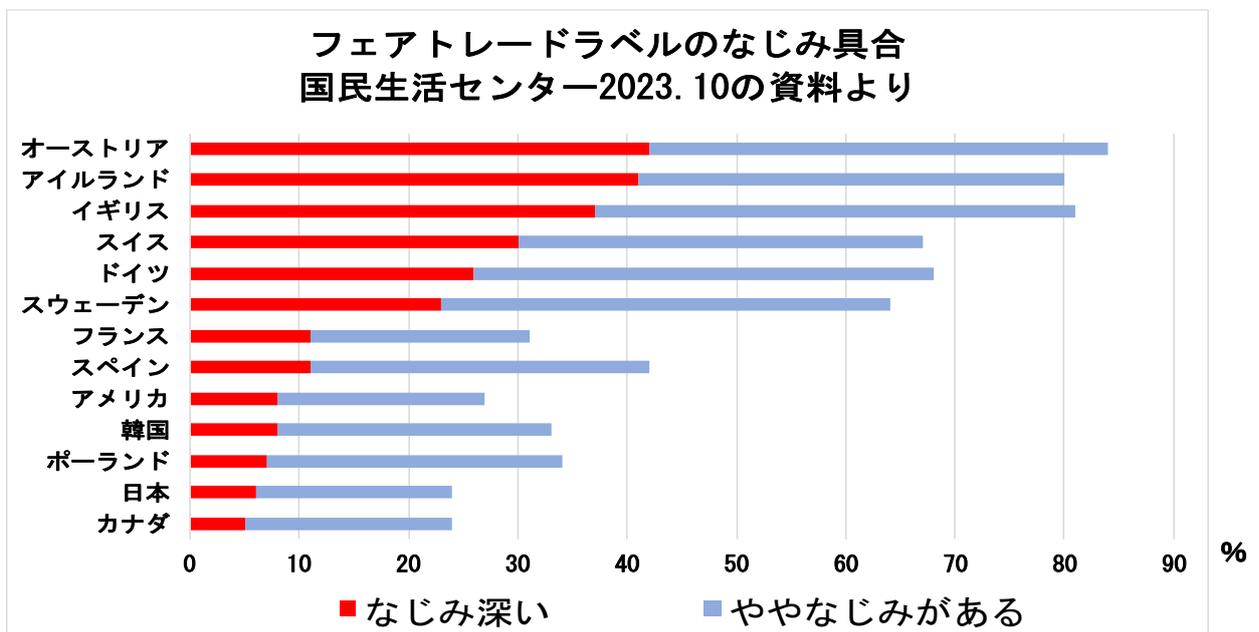
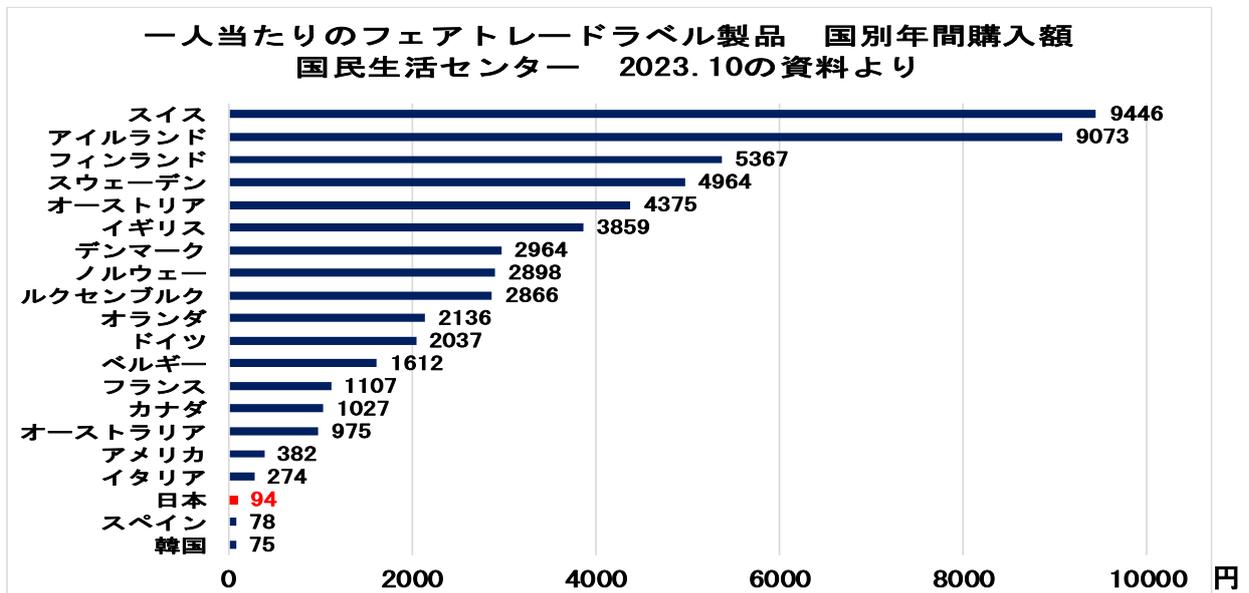
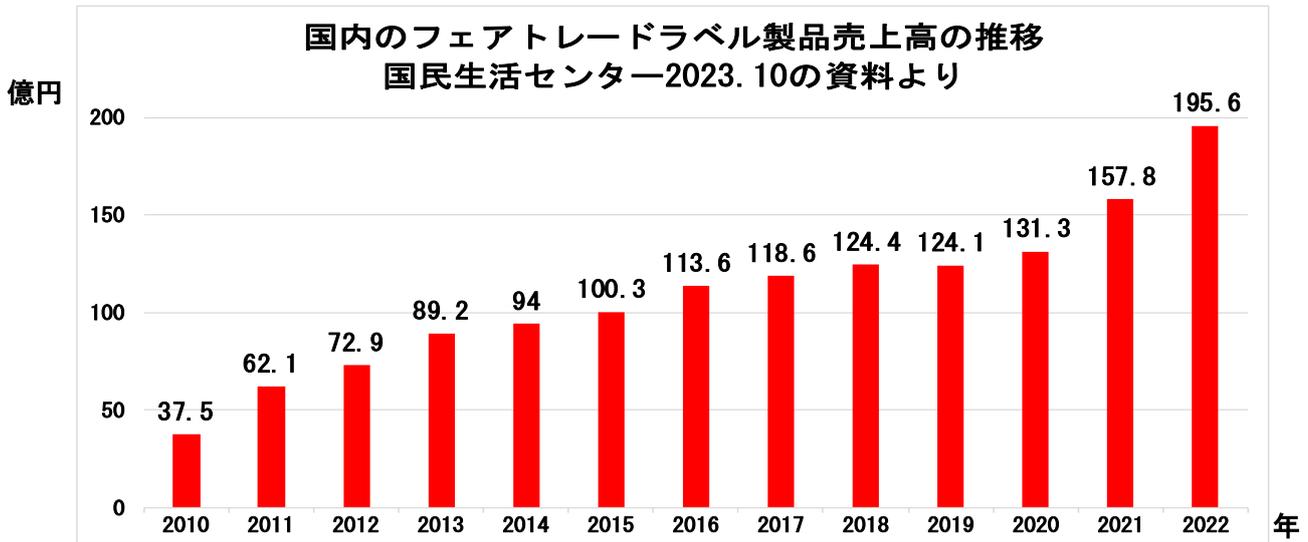
生産者にとってのメリット	生活が安定し、貧困から抜け出せる 子どもが労働することなく教育を受けられる 所得を増やす機会が得られる
消費者にとってのメリット	安全・安心な商品が手に入る こだわりの品・質の高い商品が手に入る
企業にとってのメリット	企業のイメージアップにつながる
社会や環境面からのメリット	社会や環境が持続可能になる 発展途上国が経済成長できる

フェアトレード	2012年	2015年	2020年	2022年
知名度	50.3%	54.2%	54.3%	53.9%
認知率	25.7%	29.3%	34.2%	39.3%

国内のフェアトレードの知名度と認知率の推移 / 国民生活センター2023.10の資料より

知名度 … 企業・ブランド・商品・人名などの名前が世に知れ渡っている度合い。

認知度 … 名前だけでなく、製品や事業内容まで広く知られ、ある程度中身について理解されている状態のこと。



◆フェアトレードのデメリット／フェアトレードが進まない現状の把握（5分）

・④[]

生産コストが高いことや、認証ラベルを取得するために費用がかかること、商品代金に加えて発展途上国に向けた補助金を支払っているため。また、フェアトレードの認知が低い日本では、**市場規模が小さいため高価格になる傾向**がある。

・⑤[]

フェアトレード製品は、とくに手づくりの場合、均一な品質を維持することが難しい。他の商品と比べて品質や満足度が劣ると売れなくなってしまうため、現地の文化や生産者の能力を尊重しながら品質維持の対策を行う必要がある。

・⑥[]の問題

取得条件のハードルの高さ、取得することによって継続的なコストがかかること、ラベル自体の認知度の低さなどの問題が存在している。

・曖昧な基準

フェアトレードの基準は企業や団体が直接発展途上国から仕入れたものを、**独自の基準でフェアトレード商品として販売しているケースもあり、市場には異なる基準に基づくフェアトレード商品が数多く存在している。**国際フェアトレード基準があるものの、その基準を満たさないとフェアトレード製品の表示ができないという決まりはなく、曖昧な部分が多い。

・⑦[]につながりかねない

実際は環境に配慮した取り組みを行っていないにもかかわらず、しているように見せかけて商品やサービスを提供すること。フェアトレードにおいても基準が曖昧なことを悪用し、独自のラベルを使用するなど、実態がないフェアトレードの取り組みをプロモーションするおそれがある。

◆ ある食品メーカーの取り組み（HPより引用／一部改変）●●●は会社名が入ります。

●●●のチョコレート作りは、カカオ栽培から始まります。●●●は世界中のカカオ産地とつながっているから、いろんな国のいろんな事情を知っています。

たとえば、木が古くなっていることや、苗木や肥料が手に入りにくい、育てるのが難しくなっているなど、カカオを作っている人たちにとって、困ってしまう理由がたくさんあります。

そこで、「カカオ・サポート」という活動を始めました。カカオ農家に向けて、カカオ豆に関する勉強会を開催したり、苗木や肥料を配付しています。また、カカオを作っている人たちの村に井戸を掘ったり、学校にイスや机などを届ける活動をしています。なお、この活動の維持・推進のために、カカオ豆調達時にプレミアム価格で購入しています。

(a) 上記の取り組みを読むと、カカオ豆を安定的に生産するための支援（プレミアム価格で購入）を行い、また、フェアトレードも行っているが、モノカルチャー経済から脱却するような支援はしていない。食品メーカーがガーナをモノカルチャー経済から脱却させるためにできることは何か。（4分）

(b) ほかの人の意見や考えを聞いて、どんなことを考えたか、感じたか。（3分）

(c) 現状、上記の食品メーカーはガーナのカカオ豆栽培の支援にとどまっている。現地をモノカルチャー経済から脱却させることができれば、企業イメージやブランド力の向上にもつながるが、その動きはない。現地生産を困難にしている理由を「気候」「雇用」「インフラ」というワードから考察しなさい。（4分）

※この問いは、今回の授業の目標に直結しています。

(d) ほかの人の意見や考えを聞いて、どんなことを考えたか、感じたか。（3分）

(e) ガーナの貧困解消や経済的自立を支援し、ガーナのよりよい社会の実現するために私たちや日本企業はどのようなことができるか。(a)～(d)で書き出した内容をベースに考察しなさい。

※提出先 … 地理総合のClassroomの課題に配信します。各自、Googleドキュメントを使用して提出してください、なお各自のchromebookやPCを使用して作成すること。